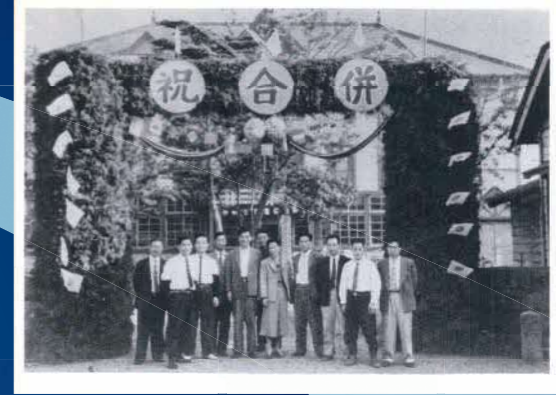


広報紙で振り返る大津町

昭和31年
↓
昭和60年

昭和31年（1956年）8月1日、1町5村（旧大津町、旧護川村「一部」、旧平真城村、旧陣内村、旧瀬田村「一部」、旧錦野村「一部」）が一つになり、現在の「大津町」が誕生しました。そして、その新しい町の歩みとともに発行されてきたのが町の広報紙です。

今月号から数回にわたり、主に過去の広報紙から大津町70年の軌跡を振り返ります。第一回は、町が誕生してから昭和60年までの30年間、高度経済成長期の熱気とともに、インフラが整い、町が大きく飛躍していく様子を振り返ります。



▲昭和31年の町村合併時の1枚



▲昭和44年（1969年）1月号
暮らしと情報通信の大きな変化「電話のダイヤル化」

昭和44年（1969年）7月、大津町でもついに電話が「ダイヤル自動化」へと切り替わりました。それまでは電話局の交換手を通して電話をかけていましたが、直接相手の番号を回して繋がるようになったことは、町民の暮らしに劇的な変化をもたらしました。一家に一台の黒電話が普及し始め、遠く離れた人との距離がぐっと縮まった、情報通信の歴史的瞬間です。

昭和44年（1969年）



▲昭和56年（1981年）1月号
国道325号バイパスの開通

昭和47年の国道57号バイパス開通に続き、南北を結ぶ国道325号のバイパスが整備されました。この東西・南北の軸が完成したことで、大津町はさらなる躍進を遂げることになります。

昭和56年（1981年）



▲昭和56年（1981年）2月号
時代を超えて受け継がれる地域の絆「どんどや」

新春の伝統行事「どんどや」。火を囲んで無病息災を願う町民の皆さんの姿は、今も昔も変わらない大津町の温かい地域の絆を映し出しています。

昭和59年（1984年）



▲昭和59年（1984年）8月号
行政DXの原点 窓口業務のコンピューター化

昭和59年（1984年）9月、役場の窓口業務に待望のコンピューターが導入されました。それまで手作業で行われていた事務処理がシステム化されたことで、各種証明書の発行などが迅速になり、住民サービスが劇的に向上しました。現代のデジタル化社会へと繋がる、町の大きな転換点です。そして現在は、スマートフォンでのオンライン申請や書かない窓口など、さらに便利なDXを推進しています。

昭和51年（1976年）



▲昭和49年（1974年）7月号 工事着手時の様子
本田技研工業株式会社 熊本製作所の操業

昭和51年（1976年）1月、大津町平川の地に、本田技研工業㈱の国内事業所のなかで最も広い敷地と豊かな自然環境を誇る「熊本製作所」が操業を開始しました。以来、世界へ向けた二輪車の生産拠点として、稼働し、それに伴い転入者も増加するなど町に大きな変化をもたらしました。当時の広報誌でも、巨大工場の誕生と活気づく町の様子が大きく報じられ、今年1月には操業50周年の節目を迎えました。

昭和47年（1972年）



▲昭和47年（1972年）10月号
国道57号大津バイパスが開通

東西を貫く大動脈、国道57号の大津バイパスが、将来の4車線化を見据えて2車線で開通し、10月号の表紙では、関係者による晴れやかなテープカットの様子が報じられ、物流や観光の拠点としての町の新しい幕開けを象徴する出来事となりました。

昭和32年（1957年）



▲昭和32年（1957年）11月27日発行の大津弘報
大津広報発行

昭和32年（1957年）4月に現在の「広報おおづ」の礎となる「大津弘報」が発刊され、町からの情報が家庭に届くようになりました。

昭和31年からの30年の主な出来事

元号	西暦	月	出来事
昭和31年	1956年	8月	新「大津町」が誕生
昭和32年	1957年	4月	「広報おおづ」創刊
昭和33年	1958年	4月	大津保育園が開園
昭和34年	1959年	5月	矢護川診療所を設置
昭和34年	1959年	12月	自動二輪車運転試験場が開場
昭和38年	1963年	4月	「交通安全都市」宣言
昭和40年	1965年	1月	学校給食センターが完成
昭和44年	1969年	7月	電話のダイヤル化（自動化）
昭和44年	1969年	10月	新役場庁舎が竣工
昭和47年	1972年	9月	国道57号バイパス開通
昭和48年	1973年	4月	ミルクロード着工
昭和51年	1976年	1月	本田技研工業㈱熊本製作所が操業開始
昭和51年	1976年	8月	町民憲章を制定
昭和53年	1978年	7月	町民総合センター落成
昭和54年	1979年	4月	大津菊陽水道企業団が発足
昭和59年	1984年	9月	窓口業務のコンピューター化
昭和60年	1985年	3月	児童館が開館
昭和60年	1985年	3月	弥護山自然公園が完成

次号は、昭和61年以降

昭和60年（1985年）
つくば科学万博開催

昭和58年（1983年）
東京ディズニーランド開園

昭和53年（1978年）
成田空港開港、サンシャイン60完成

昭和45年（1970年）
大阪万博（EXPO'70）開催

昭和39年（1964年）
東京オリンピック開催

昭和33年（1958年）
東京タワー完成

広報紙から30年を振り返って

昭和31年の合併から30年間、大津町はまさに「躍進」という言葉がふさわしいスピードで時代を駆け抜けてきました。特に、昭和51年の本田技研工業㈱熊本製作所の操業は、町の経済と発展を力強く牽引する大きなエンジンとなりました。先人たちが力強く走り抜いてきたこの確かな軌跡の上に、今の私たちの暮らしがあります。大津町はこれからも、町民の皆さんの思いを乗せて、未来という新しい道へ向けて走り続けます。次号は、昭和61年以降の歩みを振り返ります。